

事前説明会

A 避難準備訓練



訓練プログラム全体像の説明

事前説明会

- 実施計画書の確認
- 避難誘導の方法の習得
- 要支援者への事前説明



訓練当日

- 個別避難計画に沿って避難訓練を実施



訓練後

- 訓練のふりかえり
- 個別避難計画の改善点
- 今後の取組



■ 目標

- 個別避難計画に基づく避難訓練の目標を共有し、参加者が各自の役割を理解した上で訓練を実施するとともに、事前に避難行動要支援者の避難誘導の方法を習得する

■ 内容

1. 訓練当日の説明
2. 【講習】避難誘導の方法の習得
3. 要支援者への事前説明



01

訓練当日の説明

今回訓練を実施する避難行動(支援)の場面

今回の訓練では、「個別避難計画」を使った避難準備訓練を行います！



個別避難計画のおさらい

作成した「個別避難計画」の内容を確認しましょう！



個別避難計画（わたしの避難計画書）（例） 作成日：令和 年 月 日

<計画作成及び個人情報使用の同意について>
 □災害時に同僚の避難ができるよう個別避難計画を作成し、関係機関へ告知することによって同意します。
 □計画作成により必ず支援が受けられることも保証するものではなく、関係機関へ告知する責任や義務を負うものではないことについて理解し、同意します。

■本人情報

ふりがな	歳次	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
氏名	生年月日	大・昭 平・令	年 月 日 歳
住所	〒		
連絡先	自宅 FAX	携帯	
心身の状況	<input type="checkbox"/> 要介護・要支援認定（ ） 備考 <input type="checkbox"/> 障害者手帳（ ）		
家族構成	<input type="checkbox"/> 同居家族なし（一人暮らし） ※本人含む 備考 <input type="checkbox"/> 同居家族あり（ ）人暮らし ※本人含む		
緊急連絡先（家族等）	氏名	続柄	連絡先
自協会等	名称	連絡先	氏名
医療機関 かかりつけ	名称	連絡先	備考
福祉施設 サービス機関	名称	連絡先	備考

■わたしの避難行動

避難の 必要性	大雨時・台風時			地震・津波時	
	土砂災害 あり・なし	洪水 あり・なし	高 潮 あり・なし	津 波 あり・なし	建物倒壊・火災 あり・なし
避難の タイミング	<input type="checkbox"/> 高齢者等避難 避難呼びかけ	<input type="checkbox"/> 高齢者等避難 避難呼びかけ	<input type="checkbox"/> 高齢者等避難 避難呼びかけ	<input type="checkbox"/> 避難指示 津波警報	
避難先					
距離	km	km	km	km	km
移動手段					
避難時間	分	分	分	分	分
準備	携 行 品	その他準備事項	準備にかかる時間		

■避難時に必要な支援

避難支援等 実施者 （必ず記入）	①	氏名	住所	連絡先
	②	氏名	住所	連絡先
	③	氏名	住所	連絡先

■支援内容

●自宅から避難先までの経路、その他支援に必要な事項を記載してください。

■避難生活時に必要な支援

■支援内容

○計画作成関係者

避難者 氏名	民生委員 氏名	自協会等 氏名
-----------	------------	------------

実施計画書の確認

今回の訓練の「実施計画書」を確認します。お手元に用意してください。

訓練セットA-a 実施計画書	
(地区名(町内会・自治会名等)を記入してください。)	
	地区
個別避難計画に基づく避難訓練プログラム 実施計画書	
A 避難準備訓練	
1. 訓練の目的	
個別避難計画に基づく訓練を通じて、作成した個別避難計画の実行性を検証するとともに、関係者で改善事項を共有して計画を改善することを目的とし実施する。	
2. 訓練の目標	
訓練の具体的な目標を設定しましょう。 (※以下の目標は、計画作成後初めての訓練を想定しています。2回目以降の実施の際には、「前回の課題を改善できる」等の新たな目標を設定してみましょう。) (↓オリジナルの目標を考える場合は、例を参考に追加・修正してください。)	
<ul style="list-style-type: none">避難行動要支援者が、避難支援等実施者と合流するまでにやること(携行品の準備、準備しておくことの実施)を計画通りに実施できる。訓練を通して、作成した個別避難計画(携行品の準備、準備しておくことの実施)に課題や不足がないかを確認し、計画の改善事項に気づくことができる。	
3. 訓練の参加者	
避難行動要支援者、避難支援等実施者を確認しましょう。	
避難行動要支援者	(訓練に参加する避難行動要支援者の氏名を記入してください。)
避難支援等実施者	(要支援者の避難支援等実施者の氏名を記入してください。)

A-a. 実施計画書

1. 訓練の目的

訓練の目的は、以下のように設定しています。

これから実施する訓練の目的を理解して、各自の役割に取り組みましょう！

訓練の目的

- ・「訓練の目的」は、作成した「実施計画書」に合わせて修正してください。

個別避難計画に基づく避難訓練を通じて、作成した個別避難計画の実行性を検証するとともに、関係者で改善事項を共有して計画を改善することを目的とし実施する。

避難行動や支援のための道具が不足していた
一人では誘導するのが難しい

危険な個所があった

避難を支援する人



要支援者本人

連絡を受けとるのが難しかった

持っていくものをあらかじめ準備しておけばよかった

支援者にこうしてもらいたかった

見つけた課題を改善していくことで、よりよい計画に！

2. 訓練の目標

目標は、以下のように設定しています。
目標達成を目指して、訓練に取り組みましょう！

訓練の目標

・「訓練の目標」は、作成した「実施計画書」に合わせて修正してください。

- ・ 避難行動要支援者が、避難支援等実施者と合流するまでにやること(携行品の準備、合流場所までの移動など)を計画通りに実施できる。
- ・ 訓練を通して、作成した個別避難計画(携行品の準備、合流場所までの移動など)に課題や不足がないかを確認し、計画の改善事項に気づくことができる。

立てた目標は、訓練を評価する
チェックポイントになります！



できた!



記録・評価係

A checklist form titled "避難訓練実施記録表" (Disaster Drill Implementation Record Table). It contains various items to be checked, such as "避難行動要支援者の参加状況" (Participation status of disaster action supportees) and "避難準備の状況" (Status of disaster preparation). The form is partially filled out with checkmarks and handwritten notes.

3. 訓練の参加者

今回の訓練に参加する避難行動要支援者(本人)と、避難支援等実施者(避難を支援する人)は、以下の皆さんです。

訓練の参加者

・ 作成した「実施計画書」に合わせて「参加者名」を記入してください。

避難行動要支援者

●●さん

避難支援等実施者

●●さん、●●さん、●●さん

訓練の被害想定

「風水害」

が発生した場合は
ここをクリック↓



「津波災害」

が発生した場合は
ここをクリック↓



4. 訓練の被害想定(風水害)

今回の訓練は、「風水害」が発生した場合を想定して実施します。

訓練の被害想定(前提条件)

・作成した「実行計画書」に合わせて修正してください。

台風第7号

- ・大雨(土砂災害、浸水害)特別警報、洪水警報、雷注意報 発表
- ・高齢者等避難が発令された

※3日前から大雨注意報、雷注意報、強風注意報が発表されている

風水害



防災気象情報、避難情報
などを収集し、早めに
避難！

地震(津波)



地震発生後、ある程度、
揺れがおさまったら、
すぐ避難！

訓練では、悪天候時の避難を想定しながら危険なところを把握！

4. 訓練の被害想定(津波災害)

今回の訓練は、「津波災害」が発生した場合を想定して実施します。

訓練の被害想定(前提条件)

• 作成した「実行計画書」に合わせて修正してください。

南海トラフ巨大地震 M9.0

- 日中の休日に地震が発生したことを想定
- 発災直後から津波が到達する前までを対象

風水害



防災気象情報、避難情報
などを収集し、早めに
避難！

地震(津波)



地震発生後、ある程度、
揺れがおさまったら、
すぐ避難！

訓練では、悪天候時の避難を想定しながら危険なところを把握！

5. 訓練当日の概要

訓練当日は、以下のような概要で実施します。

訓練の概要

・ 作成した「実行計画書」に合わせて修正してください。

- ・ 日 時: R●年●月●日(曜日) ●:● ~ ●:●
- ・ 集合場所: ●●●●●●●●
- ・ 方 法: 実働訓練
- ・ 主な内容: 個別避難計画を活用し、「避難の準備(支援者と合流するまで)」の訓練を実施する
- ・ 訓練開始: 「高齢者等避難」の発令で開始 ← 参加者の携帯電話に連絡
- ・ 終了条件: 要支援者と支援者が合流し、安否が確認できたら終了
- ・ 訓練後: 訓練のふりかえりを実施

サイレンを鳴らす



電話で連絡する



SNSなどで
メッセージを送る



訓練開始の合図は、支援者が情報をキャッチして活動を開始するためのもの
合図は明確な方法で行いましょう！

当日までの準備

「個別避難計画」を見て
要支援者の特性・行動や
自分がとるべき行動を
確認しておきましょう！



個別避難計画（わたしの避難計画書）（例） 作成日：令和 年 月 日

＜計画作成及び個人情報使用の同意について＞
災害時に円滑な避難ができるよう個別避難計画を作成し、関係機関・者で共有することに同意します。
計画作成により必ず支援が受けられることを保証するものではなく、関係機関・者が法的な責任や義務を負うものではないことについて理解し、同意します。

■本人情報

ふりがな		血液型		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
氏名		生年月日	大・昭 平・令	年	月 日 歳
住所	〒				
連絡先	自宅	FAX		携帯	
心身の状況	<input type="checkbox"/> 要介護・要支援認定（ <input type="checkbox"/> 障害者手帳（ 				備考
家族構成	<input type="checkbox"/> 同居家族なし（一人暮らし） <input type="checkbox"/> 同居家族あり（ 				備考
緊急連絡先 （家族等）	氏名	続柄	連絡先	備考	
	氏名	続柄	連絡先	備考	
自治会等	名称	連絡先	氏名		
医療機関 かかりつけ医	名称	連絡先	備考		
福祉施設 サセス利用	名称	連絡先	備考		

■わたしの避難行動

避難の 必要性	大雨時・台風時			地震・津波時	
	土砂災害 あり・なし	洪水 あり・なし	高潮 あり・なし	津波 あり・なし	建物倒壊・火災 あり・なし
避難の タイミング	<input type="checkbox"/> 高齢者等避難 <input type="checkbox"/> 避難呼びかけ	<input type="checkbox"/> 高齢者等避難 <input type="checkbox"/> 避難呼びかけ	<input type="checkbox"/> 高齢者等避難 <input type="checkbox"/> 避難呼びかけ	<input type="checkbox"/> 避難指示 <input type="checkbox"/> 津波警報	
避難先					
距離	km	km	km	km	km
移動手段					
移動時間	分	分	分	分	分
準備	携行品		その他準備事項		準備にかかる時間
	分

■避難時に必要な支援

避難支援等 実施者 ※必ず記入	①	氏名	住所	連絡先
		関係	役割	
	②	氏名	住所	連絡先
		関係	役割	
	③	氏名	住所	連絡先
		関係	役割	

支援内容

●自宅から避難先までの経路、その他支援に必要な事項を記載してください。

■避難生活時に必要な支援

支援内容

◎計画作成関係者

福祉専門職 氏名	民生委員 氏名	自治会等 氏名
-------------	------------	------------

6. 訓練後のふりかえりについて



訓練が終わったら、参加者・運営側を含めてふりかえりを行います。
ふりかえりは、以下の内容です。

- 1 訓練のふりかえり 訓練の良かったこと・課題等の意見を出し合う
- 2 個別避難計画の改善点 個別避難計画の改善した方が
良いこと等を共有する
- 3 今後の取組 次回以降の取組について話し合う
(個別避難計画の改善・今後の訓練等)

7. タイムスケジュール

訓練当日は、以下のようなタイムスケジュールで進めます。

(タイムスケジュールの例)

25分	避難訓練の実施	
30分	ふりかえりの流れと内容の説明	
	訓練のふりかえり	
	個別避難計画の改善点	
	今後の取組の検討(計画の改善・今後の訓練など)	

注意事項の説明

- ✓ 補償について
- ✓ 緊急時の連絡先 など



避難を支援する人と、その家族等の「いのち」や安全性の確保が大前提！

質疑応答





02

【講習】 避難誘導の方法の習得

■ 目標

- 避難誘導の方法を身につける

■ 内容

1. 避難誘導の方法の習得

講師紹介

要支援者への事前説明は、
要支援者の自宅で実施します！

